

学校評価報告書

学校（園）名 深谷市立幡羅幼稚園

1 学校評価のねらい（学校・園としての受け止め）

- ・指導の改善や子供の「心情・意欲・態度」の形成に活かすため
- ・保護者と連携を取り合って、より良い園運営をするため

2 評価の方法（自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等）

- ・自己評価 年2回（1学期末・3学期中）
- ・学校関係者評価 年2回（1学期末・2学期末）
- ・方法 両者ともアンケート形式で実施（要記名）
保護者には、記述式で実施している。

3 評価の結果

（1）主な指標の変化

- ・学校関係者評価では、「幼稚園の教育方針や行事、活動の内容を知っている。」の問いに対する回答が、「よくあてまる」が68.4%であり、「あてはまる」が、26.3%、「あまりあてはまらない」が5.3%であった。これは昨年度よりもやや低い評価となった。
- ・「お子さんが幼稚園に通うようになって、成長を実感できる。」の問いに対し、「よくあてはまる」と回答した保護者が、1学期の学校評価では88.9%であったが、2学期の学校評価では100%になった。
- ・自己評価では、保育指導等について、職員は概ね達成されていると考えており、昨年とほぼ同様である。

（2）学校教育目標の具現化に向けた指標

- ・学校関係者評価で、「意欲的に生き生きと活動できる子供の育成に努めている。」の問いに、100%の保護者が「あてはまる」と答えており、職員が幼稚園の教育目標である『げんきに、なかよく、たくましく』に向けて園児を指導していることがわかる。「お子さんは、楽しく意欲的に遊びに取り組んでいる。」の問いに対しても、100%の保護者が「あてはまる」と答えており、元気でたくましい子供の育ちが見られると言える。

（3）学校研究課題の具現化に向けた指標

- ・「幼稚園は食育に力をいれている。」「幼稚園は小学校との連携を積極的に行っている。」「幼稚園は、意欲的に生き生きと活動できる子供の育成に努めている。」の問い全てにおいて、100%の保護者が「あてはまる」と回答した。今年度の

研究課題である、「園児の笑顔とすこやかな成長をはぐくむ食育活動の研究～小学校や家庭、地域と連携した食育活動を通して～」については、概ね達成されていると考えられる。

4 次年度に向けての展望

- ・全体を通して、幼稚園の取組や子供の成長や姿に対して満足していると考えられる回答が多かった。これは、日々の遊びや行事を通して、一人一人を生かし、こころ豊かでたくましい子供が育成されているからだと考えられる。次年度も一人一人を大切にし、伸ばしていけるように努めたい。
- ・幼稚園の教育方針や行事、活動の内容をよく知ってもらえるような工夫をしていきたい。